



暑い日が続きますが皆さんいかがお過ごしでしょうか。看護学生さんは夏休みになりますが課題やアルバイト等忙しくされているのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスにより小児病棟のボランティアを中止していましたが、新たに多くの看護学生さんにボランティアに参加していただけることになりました。ご協力ありがとうございます。

このNEWS LETTER「つむぎ」も第3号となりましたが、これからは看護学生ボランティアの皆さんにも看護部の様々な情報を発信していきたいと思えます



◇看護部長メッセージ

残暑お見舞い申し上げます。

学生アルバイトの皆さん、学生ボランティアの皆さん、猛暑の中お疲れ様です。室内と屋外の寒暖差で体調を崩したりしていませんか？さあ、ワクワクの夏休みがやってきました。アルバイトやボランティアは大変なことも多いと思いますが、夏の風物詩を楽しんで、心身ともにリフレッシュしてください。

看護部長 原 朋子



◇看護部のご紹介 4年ぶりにボランティア活動を再開した小児病棟(5B病棟)をご紹介します

当院の成育母子医療センターは、産科病棟・NICU/GCU・小児病棟・産婦人科外来・新生児内科外来で構成されています。そのなかで小児病棟は0歳から15歳までの多岐にわたる疾患をもつ子どもたちを対象として日帰り検査や手術を受ける短期入院や、化学療法や在宅医療を必要とする子どもたちの受け入れを行っています。子どもたちの成長発達段階に応じた看護を行うとともに、子どもとご家族の思いを大切に多職種と連携・協働しています。

7月中旬から小児病棟でのボランティア活動を再開することになりました。看護学生の皆さん小児病棟のチームの一員として、子どもたちのサポーターとしてどうぞよろしくお願いいたします。

5B病棟看護師長 中村 有里



看護職員がいきいきと働き続けられるように「看護部働き方改革つむぎプロジェクト」が活動しています

◇つむぎプロジェクトより

看護学生さんの看護補助アルバイトが開始され5か月がたち、延べ26名の学生さんに活躍していただきました。実際に業務を行った学生さんと、病棟スタッフにアンケート調査を行いました。アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果は今後NEWS LETTERでお伝えします。



学生アルバイト・学生ボランティア相談窓口 担当:安西
連絡先 E-mail hsp-kango-kanrishitsu@city.saitama.lg.jp